

## 第2回学校運営協議会 ご意見

### 令和2年度 学校経営計画について（進捗状況）

#### (2) 3 本年度の取組内容及び自己評価

##### 1 確かな学力に育成

・ 授業満足度が昨年度並み[79.4% (+0.1)]で目標値〔81%以上〕には達しなかったが、このコロナ禍の状況を考えると休校もある中で、生徒の満足度を維持する取り組み行われたのではと思います。

Q 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、「魅力ある授業」、「わかる授業」を推進すると記されているが、具体的にどのようなアクションを取っているのか教えてほしい。これは難しい課題であるが、最近のアクティブラーニングや反転学習などを適用しているのか、それとも各教員個人の工夫に委ねているのかについて教えて欲しい。

A 知識を高めるため一方向の授業も取り入れながら、対話的で協動的に深い学びにつなげていけるようにしています。現在、プロジェクターは特別教室用に10台購入済み。教室用は22台購入予定。その他の利用として複数台購入済み。プロジェクターと端末(PC、タブレット、スマホ等)を無線で接続する機器を数十台購入し、利用してもらっています。GIGA スクール用の新たな教員端末(Chromebook)は、34台購入予定。工業教材の作成に役立つ工具等多くの静止画コンテンツを企業からの提供を受けて、教員の共有フォルダーに保存し、活用してもらっています。現在、各教員がICT活用を積極的に行い、授業改善に取り組んでいる状況です。学校教育自己診断で「ICT活用」の問いがあり、その結果が楽しみです。

Q 学校教育自己診断(生徒)の「授業満足度」、「実習授業満足度」の数値を評価しているが、出来ればアンケートで不満な生徒に「何が不満か」を記入させなければ授業の改善が出来ないのではないか。

A アンケートでは、質問事項に対して自由記入欄を入れています。自由記入の内容は、先生個人にフィードバックして授業改善につなげてもらうよう啓発しています。

Q 公開研究授業や授業見学ではその結果をどのように活用しているのか？ 無記名のアンケートなどで教員へのフィードバックが無ければ改善に繋がらないと思う。

A 公開研究授業では、参加した教員へアンケートを取り、本人へのフィードバックと研究協議を行っています。授業見学週間での見学は、担当教員が見学した教員個別に感想を聞いたり、感想を書いてもらったりして、その結果を基に授業改善に取り組んでいます。

Q キャリアパスポートの内容と実施方法を教えていただきたい。

A 淀工版キャリアパスポートは、1年生は年度当初の「(学)キャリアガイダンス」で説明を行い、2、3年生はLHRで「テーマ：見通しを立てる」で説明して記入させています。なお、年度末には全学年のLHRで「テーマ：振り返り」を実施予定です。

##### 2 夢と志をもつ生徒の育成

Q 教育相談室の利用状況を拝見しましたが、「教育相談」にしっかり取り組んでおられる様子がよくわかり、素晴らしいと思いました。組織としてどのような動き(人員配置等)をされているか(以前に聞いて忘れていたかもしれませんが・・・)、また、教えていただければ、嬉しいです。

A 校務分掌の生徒指導部に教育相談係を設置し、個別に教育相談室を設けています。なお、教育相談

係は教員3名で常駐しています。

Q p2の大学進学希望者実現度が平成29年度から低下気味であるが、この理由は何か？分母の人数が年々減少していることと関係があるのか？

A 平成29年度のデータは、すべての進学者に対するデータと思われます。来年度修正いたします。今年度も含めた平成30年度以降の大学進学希望者は40名強で推移しています。

Q 大学進学者の希望実現度は毎年90%以上の高い数値を出しているが、本年度は大学進学希望者で進学先未定が全体で32名、工学系で13名ありますが、この生徒は今後どうなるのでしょうか？

A 上記回答と同じ。

Q 本年度はインターンシップがコロナのせいで中止となったが、この悪影響が出ないか心配である。何か代替のイベントを遠隔で出来ないか。

A 現在は、府立学校のネットワーク環境の問題もあり、大勢でオンライン会議等が難しい状況です。GIGAスクール対応のネットワーク環境と端末が整備されれば可能となる予定です。インターンシップは2年生が中心であり、就職等に悪影響が出るとすれば来年度となるので、その件も検証したいと思っています。

Q 大学進学者への学習状況調査でやはり数Ⅲ、物理、英語が課題であると判ったが、これに対する具体的な対策は何か検討しているのでしょうか？

A 担当教科への伝達、個別の学習指導、夏期・冬期の講習会等でさらなる指導・啓発を依頼しているのが現状です。

Q 工科高校のさらなる魅力づくり・学習内容の充実のために設けた将来検討委員会の開催回数が少ないように感じる。委員会の検討課題について差し支えない範囲で教えて欲しい。

A 学校の目標、どのような生徒を育てるのか、学校の特色の強化、特色を強化しながらPBLをカリキュラムに落とし込み、社会につながる人材育成をする。今後、学校のビジョンを明確にして中学生へのPRチラシの作成、予算要求、令和4年度入学生に向け教員全体へ周知し全体で取り組めるよう進めていきます。

### 3 全体を通して、お気づきになられた点など

- ・ 本年度の中間報告として可能な範囲で傾向が判るように数値を示しているのもので理解しやすいと思います。
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止のための3カ月に及ぶ臨時休業を経て、感染対策を施しながら教育活動を再開、継続され、昨年度と遜色ない実績をあげられていることに対して、敬意を表します。
- ・ 過日は、淀工も休校措置を取られたと聞いています。我慢の1年で次年度は、当然感染予防の観点には必要ですが、学校運営を工夫しつつ、運営協議会も書面ではない開催ができればと期待しております。校長先生をはじめ、淀工の教職員の皆さんも健康にはご留意ください。
- ・ 将来的に生徒数が減少する事が考えられる為、魅力ある学校にしていかなければ、ますます選んでもらえなくなるのではないのでしょうか？  
クラブ活動だけでなく、ICT環境を構築しコロナ禍でも家での授業等色々な事に取組む必要があると思います。

Q 実習等で作成している物を利用して、何か商品化できないでしょうか。

本館入り口に展示されているボール盤のように生徒が作り上げた物が世間で利用されていると、自分たちの技術が活用されているという実感が湧き誇りや自信になるのでは。何か自分達の技術が生かされているという実感を持ってもらいたいです。

個人的にはスターリングエンジンを使ったストーブ用ファンを作ってほしいです。

もちろん PL 法等のルールをクリアする事が必要ですが、企業と一緒にクラウドファンディングを利用して何かを作り上げたり、商品開発に参加するなど。

- A** 工業製品にはPL法（製造物責任法）があり、学校が損害賠償の責任を負うことについてはハードルが高いです。また、商品化には企業とのコラボも必要となるため、様々な課題を克服する必要があります。様々なご意見をいただき、府教育庁とも相談しながら、方向性について研究したいと思います。